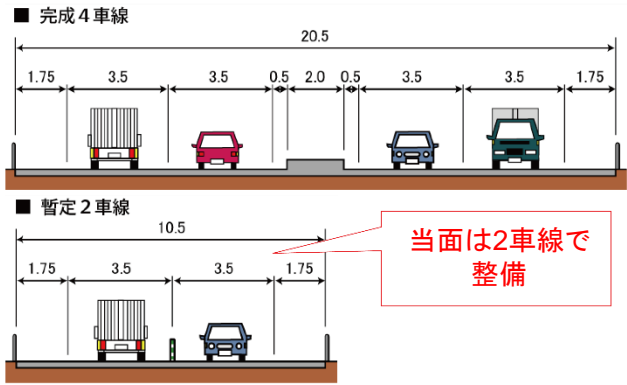


中部横断自動車道(富沢～六郷)の概要

計画概要

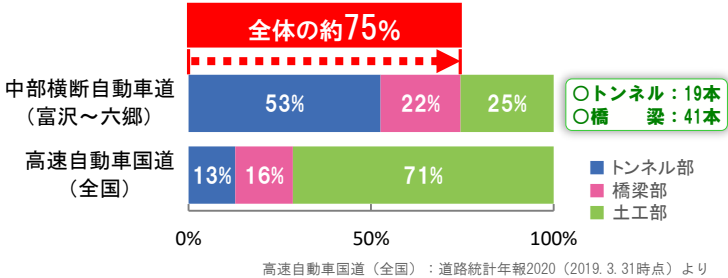
- 路線名 中部横断自動車道(富沢～六郷)
- 区間 自) 山梨県南巨摩郡南部町
至) 山梨県西八代都市川三郷町
- 延長 28.3km
- 車線名 4車線(当面2車線で整備)
- 構造規格 第1種3級
- 設計速度 80km/h
- 幅員 20.5m(当面10.5mで整備)

横断面図

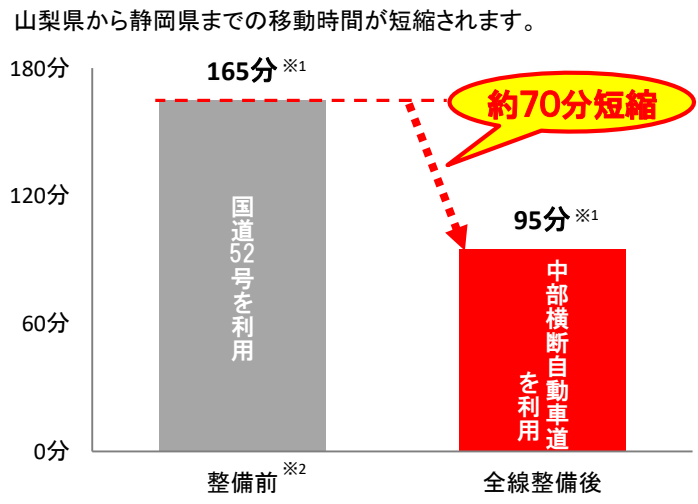


構造物の割合

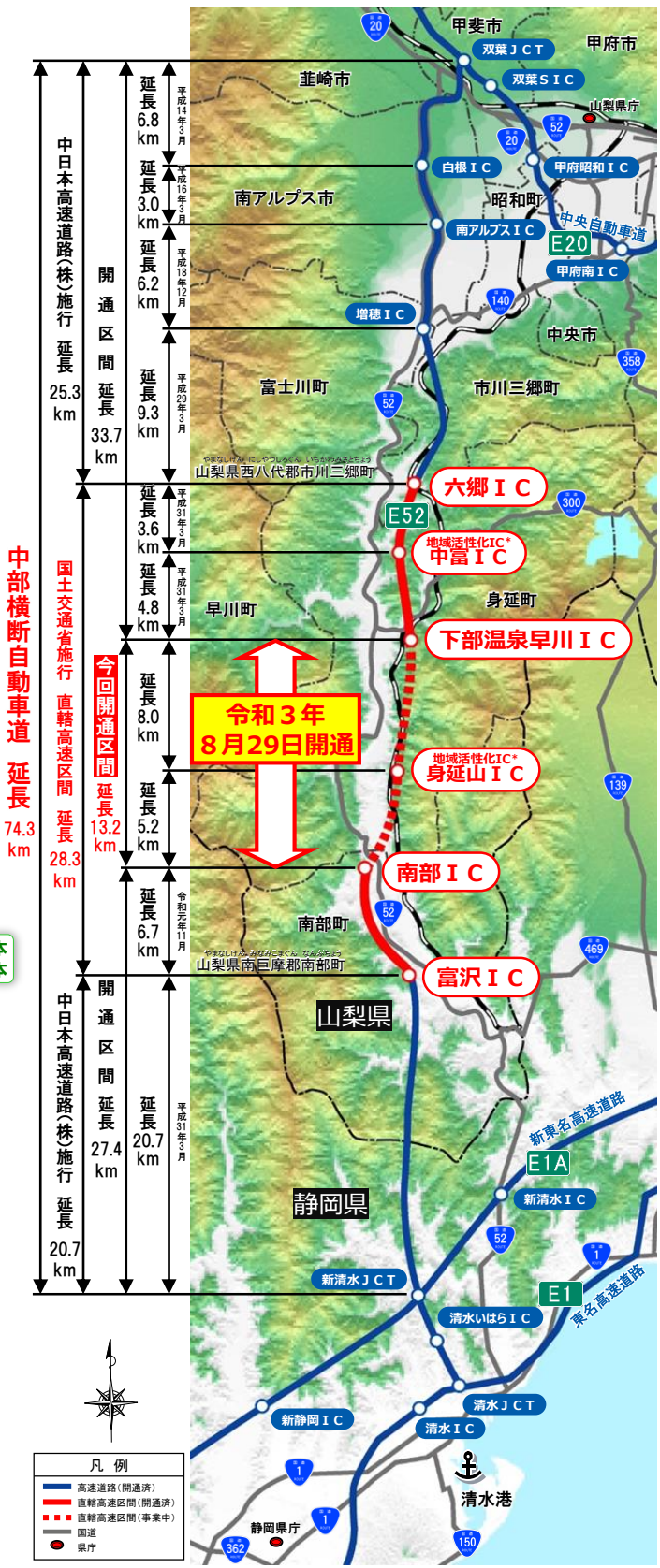
多くのトンネルと橋を有する高速道路
中部横断自動車道(富沢～六郷)には、多くのトンネルと橋があります。延長28.3kmのうち、約75%はトンネルや橋梁です。



移動時間(山梨県庁～静岡県庁)



路線図



凡例

- 高速道路(開通済)
- 直轄高速区間(開通済)
- 直轄高速区間(事業中)
- 国道
- 県庁

* 地域活性化ICとは、地方公共団体が主体となって発意し、整備する追加インターチェンジです。

この地図は、国土院院長の承諾を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。

※1. 高速道路、一般国道、主要地方道、一般県道を対象に算出。新東名高速道路：120km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h。山梨県庁から静岡県庁への移動時間を算出。
※2. 中部横断自動車道(新清水JCT～双葉JCT)を利用しないという設定で移動時間を算出。

農産品の海外輸出支援

- 山梨の主要農産品であるモモ・ブドウ等の青果物の海外への輸出は、山梨県知事のトップセールスをはじめとした海外への山梨ブランドのアピールを積極的に取り組み、増加傾向。
- 中部横断自動車道の整備により、山梨県から国際拠点港湾までの輸送時間が**最大約80分短縮**。（【整備前】東京港・横浜港：約180分、清水港：約160分⇒【整備後】清水港：約100分）
- 清水港では農水産物の輸出促進に向け、リーファーコンテナ電源供給設備等の整備を実施。

山梨県から輸出港(国際拠点港湾)までの輸送ルート

道

中央自動車道利用の場合

東京港、横浜港までの輸送時間は**約180分**※1

一般道(国道52号)利用の場合

- ・清水港までの輸送時間は**約160分**※1
- ・通行支障箇所等により走行性が悪い



中部横断自動車道の整備により

清水港までの輸送時間は**約100分**※1



山梨県から清水港へのアクセス性向上により、**農産品等の海外輸出を促進**

※1: 港への輸送時間と港における待機時間の合計
 ・輸送時間は、高速道路:80km/h、中部横断道:70km/h、一般道路:40km/hで算出
 ・待機時間は、東京都トラック協会海上コンテナ専門部会、神奈川県トラック協会海上コンテナ専門部会(ともに平成27年12月)、清水港利用促進協会(平成27年10月)の調査結果

山梨県における青果物の海外輸出の取組

■山梨県知事による海外でのトップセールス



平成27年
シンガポール
インドネシア
平成28年
タイ、マレーシア
インドネシア
平成29年
台湾、ベトナム
インドネシア
平成30年
インドネシア
ベトナム
フィリピン
平成31年
中国

平成31年4月/於、中国

清水港における港湾施設整備の状況

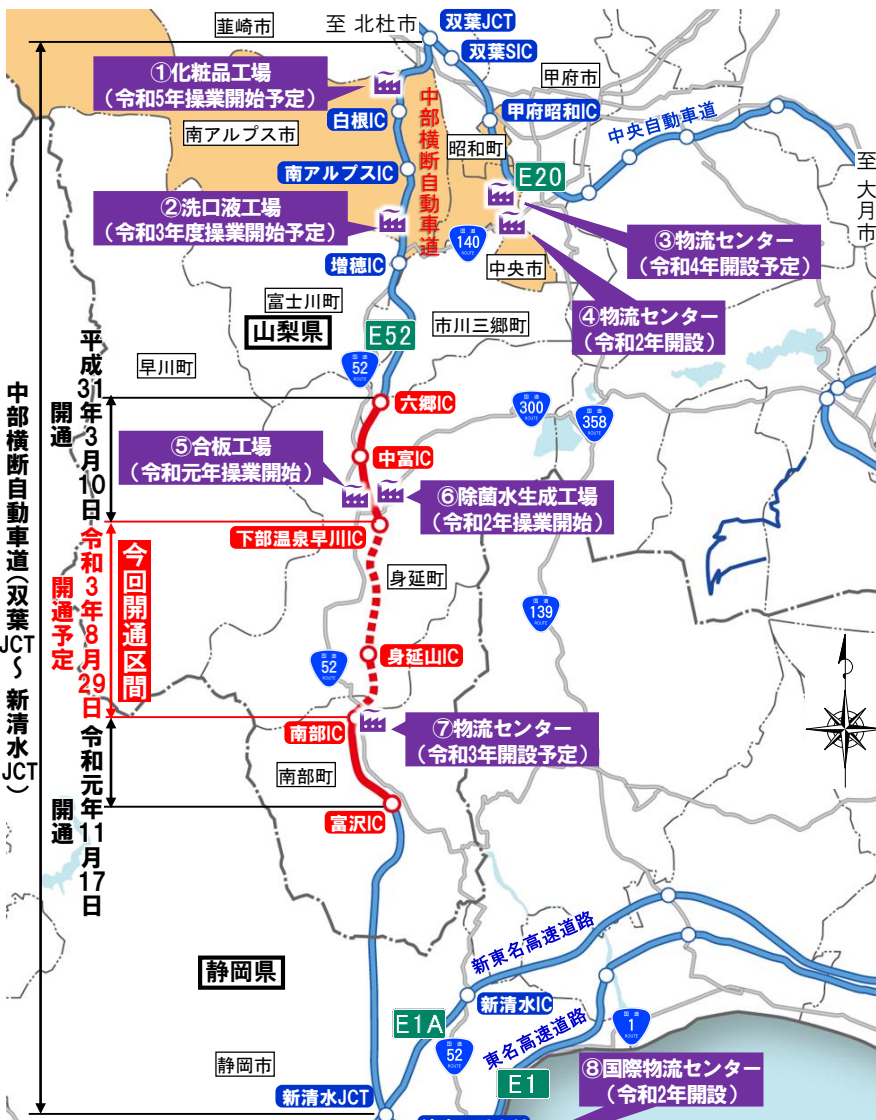
■リーファーコンテナ※2用の電源供給設備を増設(H30.8)



※2 内部を一定温度に保つ設備を持つコンテナ。冷凍・冷蔵の必要がある食品や医薬品などの輸送に利用。

中部横断自動車道沿線への新たな企業立地

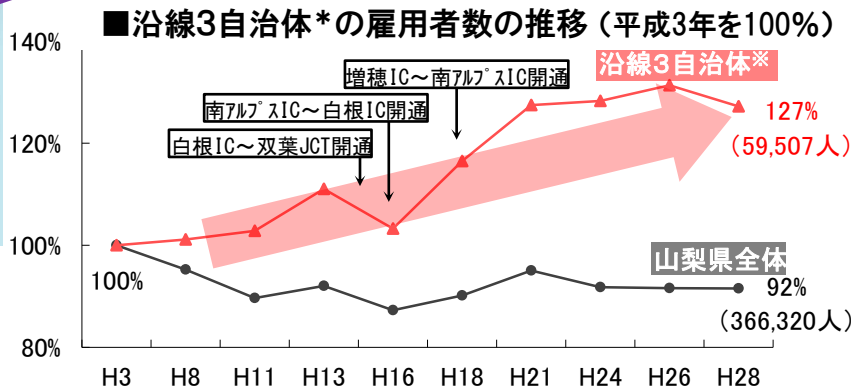
- 中部横断自動車道の沿線では、高速道路への良好なアクセス性から、既に新たな企業立地が進展。地域の雇用創出に貢献。
- 山梨～静岡間の全線開通により、更なる企業立地の進展、それによる地域の雇用創出、地域の産業振興への貢献が期待される。



開設時期	所在地	業種等
① 令和5年 操業開始予定	南アルプス市	化粧品工場
② 令和3年度 操業開始予定	南アルプス市	洗口液工場
③ 令和4年 開設予定	中央市	物流センター
④ 令和2年 開設	中央市	物流センター
⑤ 令和元年 操業開始	身延町	合板工場
⑥ 令和2年 操業開始	身延町	除菌水 生成工場
⑦ 令和3年 開設予定	南部町	物流センター
⑧ 令和2年 開設	静岡市	国際物流 センター



⑧国際物流センター（令和2年開設）R3.6.19撮影



出典：事業所企業統計調査（～H18）、経済センサス基礎調査・活動調査（H21～）より民営のみ集計
 ※ 沿線3自治体：南アルプス市、中央市、昭和町

富士山を囲む広域周遊観光ルートの形成

○中部横断自動車道の全線開通により、富士山を囲む高規格道路ネットワークが形成。
 ○これにより、富士山を囲む新たな広域周遊観光ルートが形成され、首都圏・中京圏からの国内観光や富士山静岡空港・清水港を玄関口としたインバウンド観光をはじめとする山梨・静岡両県における観光の活性化が期待される。

■広域周遊観光ルートのイメージ



■山梨県と静岡県の連携



「バイ・ふじのくに」とは…
 富士の国やまなし、ふじのくに静岡の旬の農畜水産物を互いに購入しあって相互に助け合うとともに、ふじのくにの産品を協同で販売促進し、ともに「ふじのくに」をさらに元気にする取り組みです。（出典：山梨県HP）

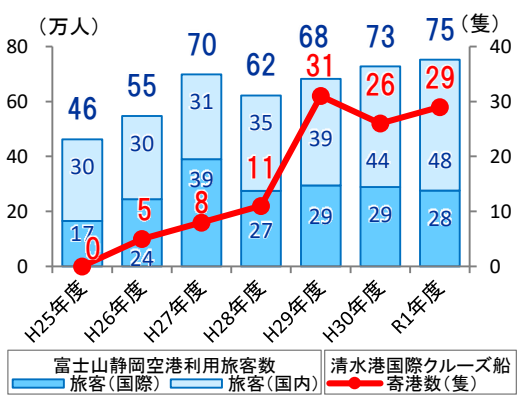
■観光施設の声

首都圏
 今回の開通では静岡側がぐっと近くなるため、浜松や愛知・三重方面に加え、富士山静岡空港をご利用のお客様など、多くの地域から来ていただけることに期待しています。



出典：令和3年6月ヒアリング結果

■富士山静岡空港利用旅客数および清水港国際クルーズ船寄港数の推移



出典：暦年・年度別空港管理状況調査書(国土交通省) 清水港客船誘致委員会提供資料